

# 「クールコア」のマスクがヒット

ポ  
マックス 増産体制強め2ヶ  
タ増見込む

ユニフォーム総合アパレルのボンマックス(東京)で、米国の冷却素材「クールコア」を使用した「クーリングマスク」の



初年度は35万枚以上、4月  
6月中旬に15万枚以上を  
販売したクーリングマスク

売れ行きが好調だ。昨年の春に発売し、初年度は35万枚以上を販売した商品。人気を受けて今年は2カ月ほど早く受注を開始し、4月6月中旬に15万枚以上を全国の販売代理店やECで販売。今月中に前年実績の35万枚を納品し、夏本番に向けて増産体制を強化して追加投入する予定で、前年比2ヶタ増の売り上げとなる見通しだ。

同社はワークウェアカタログ『ロッキー』で、クールコア素材を使用した「マイナス10度」シリーズを販売して好評。気化

熱を利用し、水分の吸収・発散時に冷感を与えるコンプレッションウェア、アームカバー、インナーキャップ、タオルなどで構成するシリーズで、特に売れているのがマスクだ。

コロナ下での多様な需要に対応するため昨年、ボンマックスプロジェクトを立ち上げ、機能性やデザイン性を追求した様々なマスクを開発してきた中で、最もヒットしたのもクーリングマスク。軽くて着感がいいと幅広い層に人気で、今年も既存の白、黒、紺の3色に、明るいグレーと淡いブルーの新色を加え、春から販売して立ち上がりから好調。気温の上昇に伴い、売り上げの伸びに期待している。